

平成28年度 事業計画

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

一般社団法人日本建築板金協会

I. 基本方針

平成27年度の世界経済は、原油余剰による低価格傾向、安定していたドイツ金融の迷走、そして我が国におけるマイナス金利政策の実効性等、世界的な混沌状態が続くなか、内需重視の政策を期待する。

国内においては来年の消費増税を巡る動きが大きな変動要因となるが、駆け込み需要は小さくなると予想。

鉄鋼粗鋼生産も27年度の1億450万トンから、若干増の1億500～600万トンレベルと予想される。住宅着工は同91万戸と同レベルの90万戸、非住宅も同レベルの5,400万㎡と予想されるが、投資の一部先送りや消費税増の有無等、予想するには非常に厳しい環境下にある。

このような背景の下、登録建築板金基幹技能者、賛助会員、指定商品、建築板金業次世代研究会、全国建築板金競技大会などを軸とした事業展開を継続して行うこととし、全日本板金工業組合連合会などの全板連グループの各団体がそれぞれの特色を生かしながら国民の住生活の改善・向上のための活動を行う。

II. 重要方針

基本方針の下に、次の通りの重要方針を掲げる。

1. 登録建築板金基幹技能者制度の新規取得増と資格更新の推進
2. 非組合員の加入推進と社会保険加入促進
3. 指定商品の継続的な展開と新たな指定商品の模索
4. 国や国会議員（議連）、賛助会員、関連メーカー等の外部機関との連携の継続的な強化
5. 環境・エネルギー関連事業への能動的な取り組み
6. 次世代の後継者の育成強化

III. 実施事業

重要方針に沿って、以下の事業を実施する。

1. 総合事業

- (1) 第68回全国建築板金業者京都大会の開催（全板連と併催）

5月18日（水）定時総会・前夜祭「京都ホテルオークラ」

19日（木）大会式典・展示会「京都パルスプラザ」

(2) 第 36 回建築板金業次世代研究会 in 富山の開催（継続事業）

9 月 17・18 日（土・日） 富山県富山市「ホテルグランテラス富山」

(3) 第 39 回全国建築板金競技大会の開催（継続事業）

平成 29 年

2 月 25 日・26 日（土・日） 静岡県富士宮市「富士教育訓練センター」

2. 専門事業

(1) 渉外・受注開発関連事業（担当：浅沼 斎専務理事（山田 上理事））

- ①登録建築板金基幹技能者制度の推進（新規・更新）
- ②国（中央省庁）対応（責任施工保証制度及び基幹技能者の公的評価向上のための活動）
- ③建築板金業振興議員連盟対応（国への要望事項の伝達場としての総会への参画）
総会：（全板連 50 周年記念式典開催のため、開催は中止）
- ④関連機関対応（建設産業専門団体連合会、建設業振興基金 など）
- ⑤メーカー、商社との連携
- ⑥賛助会員との連携
意見交換会：平成 29 年 1 月 26 日（木）（東京都内）

(2) 商品開発関連事業（担当：天野宏昌理事）

- ①指定商品事業などの推進
 - ・「全板連ルーフィング」「カップパ 23」（日新工業株式会社）
 - ・「コーキング剤」「接着剤」（セメダイン株式会社）
 - ・「ルーフェナシャイン」（太耀産業株式会社）
 - ・「ラクボ」ほか取扱商品全般（ミドリ安全株式会社）参考 <推奨商品>
 - ・「ソーラー換気棟」（株式会社太田製作所）
 - ・「電解還元水製水器」（株式会社日本トリム）
 - ・「業務用機器関連（LED 照明）」ほか
（株式会社オリコビジネス&コミュニケーションズ）
 - ・「ファストフラッシュ」（株式会社タイセイ）
 - ・「アスベスト無害化処理工法」（株式会社エコ・24）…H28.4.1 より賛助会入会

②新たな指定商品の模索

(3) 環境・エネルギー関連事業（太陽光発電ほか）（担当：藤田 清理事）

- ・環境・エネルギー全般に関する情報収集・関連機関との連携など

4. 顕彰事業

勲章・褒章、国土交通大臣表彰、優秀施工者国土交通大臣顕彰（建設マスター）、優秀施工者土地・建設産業局長顕彰（建設ジュニアマスター）、競技大会上位入賞者（国土交通大臣賞、厚生労働大臣賞ほか）などの外部顕彰の申請や、全国大会における各種表彰を行う。

5. 青年部事業（担当：小野寺俊一理事）

青年部に対し支援及び協力を行う。

- (1) 第 41 回通常総会／第 17 回全国青年部部長会議
- (2) 全国板金業国民年金基金の加入者増強の促進

IV. 関連会議の開催

上掲の各事業を実施・推進するために、次の通りの会議を開催する。

<会議等の開催についての基本的な考え方>

1. 総会は全日本板金工業組合連合会（全板連）の総会と同日に開催する。
2. 理事会は全板連の理事会と同日に開催する。
3. 監事会は全板連の監事会と同日に開催する。
4. 正副会長会議は原則として理事会の一週間以上前に、全板連の正副理事長会議と同日に開催する。

<各会議の開催予定>

1. 総会（1回）

回数等	期日	会場	主な内容
第 46 回 定時総会	5. 18(水)	京都府 「京都ホテルオークラ」	事業報告・計画、収支決算・予算等の承認 ほか

2. 理事会（4回）

回数	期日	会場	主な内容
第 1 回 (通算第 15 回)	4. 21(木)	「板金会館」	第 46 回定時総会上程案の決定 ほか
第 2 回 (通算第 16 回)	7. 14 (木)	「板金会館」	平成 28 年度事業推進方法等の検討 ほか
第 3 回 (通算第 17 回)	11. 10(木)	「板金会館」	平成 28 年度事業推進状況の確認 ほか
第 4 回 (通算第 18 回)	H29 3. 3(金)	「板金会館」	平成 29 年度事業推進方法の決定 ほか

3. 正副会長会議（4回）

回数	期日	会場	主な内容
第1回	4.7(金)	「板金会館」	第46回定時総会上程案の確認 ほか
第2回	6.30(木)	「日本鐵板㈱ ・大阪支社」(予)	平成28年度事業推進方法等の検討 ほか
第3回	10.6(木)	「板金会館」	平成28年度事業推進状況の確認 ほか
第4回	H29 1.26(木)	「板金会館」	(賛助会員意見交換会と同日開催) 平成29年度事業計画の概要決定 ほか

4. 全国理事長連絡会議（1回）

回数	期日	会場	主な内容
第1回	11.17(木)	帝国ホテル	(全板連創立50周年記念式典) 事業経過報告と要請事項の伝達 ほか

5. 賛助会員意見交換会（1回）

回数	期日	会場	主な内容
第11回 (通算)	H29 1.26(木)	東京都内	現況報告と意見交換 ほか

6. その他の会議

実施事業に関連して必要が生じた場合に、経費予算枠の範囲内で適宜会議を開催する。

<監査>

1. 監事会（2回）

回数	期日	会場	主な内容
第1回	4.15(金)	「板金会館」	平成27年度 最終監査
第2回	10.20(木)	「板金会館」	平成28年度 中間監査

<参考> 青年部行事（幹事会7回、必要に応じて各種委員会などをそれぞれ開催）

種別	期日	会場
第1回幹事会	4.1(金)	「板金会館」
第2回幹事会	4.23(土)	東京「東京グランドホテル」
第41回通常総会	〃	〃
第17回全国青年部部長会議	〃	〃
第3回幹事会	7.15(金)	「板金会館」
第4回幹事会	9.16(金)	富山「ホテルグランテラス富山」
第5回幹事会	11.18(金)	「板金会館」
第6回幹事会	2.27(土)	静岡県「富士教育訓練センター」